

令和2年度西成区区政会議 第2回全体会 会議録

1 開催日時 令和2年12月21日(月) 14時から15時10分まで

2 開催場所 西成区役所 4階 4-1・2・5・7会議室

3 出席者の氏名

【区政会議委員】

越村 市二(議長)、上村 良次(副議長)、岡村 博之(委員)、
奥田 節子(委員)、甲斐田 安三(委員)、河嶌 郁子(委員)、
坂本 時雄(委員)、白石 俊朗(委員)、親川 敦子(委員)、
孫 貴司(委員)、高岩 薫(委員)、田中 美由紀(委員)、
中塚 陽子(委員)、西田 吉志(委員)、西前 雅晴(委員)、
橋本 敏雄(委員)、藤井 五十鈴(委員)、藤本 義次(委員)、
村井 康夫(委員)、山田 實(委員)、吉村 昌佳(委員)、

【市会議員】

花岡 美也(議員)、藤岡 寛和(議員)、山口 悟朗(議員)

【西成区役所】

横関 稔(区長)、林 浩一(副区長)、
谷口 正和(保健福祉担当部長)、三代 満(総合企画担当課長)、
苅谷 知佐子(市民協働課長)、鈴木 和弘(地域支援担当課長)、
松本 元伸(窓口サービス課長)、室田 英樹(保険年金担当課長)、
加畑 久子(保健福祉課長)、原 忠義(事業調整担当課長)、
大場 博美(生活援助担当課長)、川崎 邦夫(福祉援助担当課長)、
阪本 純司(分館担当課長)、安井 伸也(福祉担当課長)、
平野 皆子(子育て支援担当課長)、田中 登美子(保健担当課長)、
鶴見 真由美(総務課広聴広報担当課長代理)

4 委員に意見を求めた事項

- (1) 各部会からの報告について
- (2) 令和3年度西成区運営方針（素案）について
- (3) 令和2年度西成区地域福祉推進会議開催報告について

5 議事内容

【鶴見広聴広報担当課長代理】 皆様、こんにちは。それでは、定刻でございますので、ただいまから令和2年度西成区区政会議第2回全体会を開催いたします。

本日、区政会議に御出席いただきました皆様方におかれましては、お忙しい中御出席賜り誠にありがとうございます。

私は、本日の司会を務めます西成区役所総務課の鶴見でございます。よろしくお願いたします。

それでは、まず会議に先立ちまして会議資料の確認からさせていただきます。

事前にお送りさせていただいた資料のほうから申し上げます。1枚目がレジюмеでございます。その次に「区政会議委員名簿」でございます。「西成区役所職員名簿」でございます。横長の資料1と書かれました、情報発信部会の資料でございます。その次に、資料2といたしまして、西成特区構想部会の資料でございます。その次に、資料3といたしまして、教育部会の資料でございます。その次に、資料4といたしまして、これもホチキス留め横長の「令和3年度西成区運営方針（素案）－概要版－」でございます。その次に、資料5といたしまして、これも横長でホチキス留めの資料です。「西成区の地域福祉の推進に向けた令和2年度の取り組み（重点項目）」という資料と、その後ろに、カラーで「つながる場」と書いたチラシでございます。その後ろに、参考資料といたしまして「令和3年度西成区運営方針（素案）」というものが、様式1、様式2、様式3ということでつけさせていただいております。

そして、あと、意見票ということで、会議での意見を記入していただく意見票をお送りさせていただいておりますのと、あと、本日この後提出していただく、全体会に関するアンケートと各部会に関するアンケート。そして、参考といたしまして「各区で取り組んでいる区政会議運営上の工夫事例」、そして、「令和元年度西成区区政運営にかかる区政会議委員評価シート」と、参考資料として「令和元年度西成区運営方針自己評価【概要版】」をつけさせていただいております。

あと、当日配布の資料といたしまして、机の上に置かせていただいた分で、資料1という「第2回情報発信部会」の資料なんですけれども、実はこちら、事前にお送りさせていただいていたほうに少し訂正がございましたので、こちらを差し替えということで置かせていただきました。番号10番の当日の回答のところ少し修正ございまして、修正箇所を網かけをさせていただいております。こちらのほうが正しい分ですので、お手数で申し訳ないんですが、こちらのほうに資料のほうの差し替えをお願いいたします。

あと、最後に、「にしなり我が町12月号」を机の上に置かさせていただいております。何か不備等、資料足りないとかございましたら、手を挙げていただけたらと思います。よろしいでしょうか。

では、今、御確認いただいた資料のうち、事前にお送りしておりますアンケート及び区政会議委員評価シートにつきまして、簡単に御説明いたします。

アンケートは、全体会用のピンク色のものと、部会用の青色のものがございます。それぞれ全体会と部会に対する御意見を御記入ください。また、区政会議委員評価シート、これは緑色の紙ですけれども、こちらにつきましては、令和元年度の区政運営についての評価を御記入いただくシートとなっております。

これらにつきましては、委員の皆様全員に御記入いただくこととなっておりますので、お帰りの際に回収させていただきます。机の上に置いて帰っていただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、確認事項といたしまして、私のほうから何点か申し上げたいと思います。

本日は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、会議室のほう窓を開けさせていただいて換気を行い、またちょっと物々しい雰囲気で大変申し訳ないんですけれども、ビニールシートによって仕切りを作らせていただいております。できる限りソーシャルディスタンスを確保し、会議の時間も1時間程度を目安に、少し短くするような形で会議の運営をさせていただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

本日の会議につきましては、条例で定める委員定数の2分の1以上の委員の御出席をいただいております。区政会議として開催の要件を満たしていることをここに御報告させていただきます。

また、この会議は公開となっておりますので、御了承のほどよろしくお願いいたします。

本日は、報道機関の取材はございません。また、会議の様子を動画撮影させていただいております。後日、区役所のホームページにて掲載予定でございます。併せて御了承願

いたします。

確認事項は以上でございます。

それでは、ここで横関区長から御挨拶申し上げます。区長、よろしく申し上げます。

【横関区長】 皆さん、こんにちは。西成区長の横関でございます。

本日は年末の大変お忙しい中、また寒い中、委員の皆様、また市会議員の先生方におかれましては、御出席賜りまして本当にありがとうございます。

この区政会議なんですけれども、開けるかどうかいろいろ中では検討してたんですが、やはり開くべきものであるということで、ただできるだけ感染対策には注意しようということで、今、司会からもありました、物々しいんですけれども、シートを張りまして、できるだけ安全を確保するという形で開催させていただきたいと思っておりますので、なかなかお顔も見えづらいんですけれども、御理解いただければと思っております。

それと、本日のテーマとしては、この間、部会ごとにフィールドワークも行っていましたし、部会の御報告、フィールドワークの御報告、それから来年度の区政運営方針と素案につきまして、御意見を賜るということになっておりますので、限られた時間ではございますが、よろしく願いいたします。

今1時間程度ということをお願いしましたが、それは厳格にじゃなくて、いただく御意見はやっぱりいただかないといけないと思っておりますので、できるだけ短時間でという趣旨でございますので、どうか御理解を賜ればと思ってる次第でございます。私もそういう意味で、長い挨拶するのはやめとけと言われてますので、これで簡単ではございますけれども終わらせていただきます。

本日はお世話になりますが、どうぞよろしく願いいたします。

【鶴見広聴広報担当課長代理】 ありがとうございます。

それでは、次に、委員の方々と区役所の職員の紹介でございます。配付しております委員名簿及び区役所職員名簿を御覧いただき、割愛させていただきます。

本日、酒井委員、関委員、中井委員、長谷川委員、古林委員、村木委員、若林委員におかれましては、所用のため欠席でございます。また、区役所の職員につきましては、柴生総務課長、浜本保健主幹が公務のため欠席でございます。

それでは続きまして、本日御出席をいただいております市会議員の方々を御紹介させていただきます。

花岡議員でございます。

【花岡議員】 花岡です。こんにちは。

【鶴見広聴広報担当課長代理】 藤岡議員でございます。

【藤岡議員】 どうもこんにちは。よろしくお願いします。

【鶴見広聴広報担当課長代理】 山口議員でございます。

【山口議員】 こんにちは、山口です。よろしくお願いします。

【鶴見広聴広報担当課長代理】 それでは、以降の議事進行については、越村議長にお任せしたいと存じます。よろしくお願いいたします。

【越村議長】 皆さん、それでは早速進めさせていただきます。

お手元の次第に沿って進めたいと思いますので、各部会からの報告につきまして、事務局から説明よろしくお願ひいたします。

【三代総合企画担当課長】 議長、どうもありがとうございます。総合企画担当課長の三代でございます。

私のほうからは、各部会の開催の概要を御報告させていただき、その後、各部会から具体的な内容につきまして御報告していただくこととなりますので、よろしくお願ひをいたします。座らせていただきます。

各部会におかれましては、このコロナ禍の中ではございましたが、感染症予防対策を講じながら無事開催をさせていただくことができました。本当にありがとうございます。

今回は、従来の会議の後、フィールドワークとしまして、事前に委員の皆様アンケートを行い、その内容を踏まえまして、フィールドワークの場所を調整させていただきました。

また、この各部会におけます委員の皆様からの御意見、御質問と区の考え方についてでございますけれども、先ほど司会からも確認がございました資料1、2、3におきまして、部会ごとにまとめさせていただきました。

ただ、今回から、実はこの様式がちょっと変わっておりまして、実は24区で統一された様式となっております。これまで、例えば資料1を御覧いただけますでしょうか。左側から「番号」、「委員」、「意見・質問等」とあったんですけども、これまではこの質問等の次に、区の考え方、そして対応状況となっておりますけれども、今回、今御覧いただいております資料1、2、3のとおり、左から、「番号」、「委員、意見・質問等」、「当日の回答」、そして「対応」、そして「担当」と、こういう様式で24区統一されるということとなりましたので、今後この様式を使って、皆様と確認、また意見交換等々させてい

ただければと思います。

また、これにつきましては、会議開催後30日を目途といたしまして、ホームページに公開させていただくことになりましたので、併せて御報告をさせていただきます。

私のほうからは以上でございます。ありがとうございます。

【越村議長】 それでは、部会からの報告をさせていただきます。最初に、情報発信部会で意見交換をしていただきました内容につきまして、村井議長、よろしく願いいたします。

【村井委員】 情報発信部会の村井でございます。

それでは、情報発信部会のほうの御報告をさせていただきたいと存じます。資料といたしましては、お手元の資料1、「第2回情報発信部会（令和2年11月9日開催）」という資料を御覧いただきたいと思います。ここにA4、2枚に渡りまして、当日御発言をいただいた内容を記載させていただいております。その中から1つ選びまして、内容を御報告させていただきたいと思います。

1ページ目の番号2番、発言をいただいた委員さんは、上村委員さんでございます。意見内容に関しまして、読み上げさせていただきます。

「【地域コミュニティ支援事業】について。地域活動協議会に関する情報を区ホームページやフェイスブックで発信されているが、区のホームページから地域活動協議会を探すのに苦労したので、わかりやすいところへ掲載してはどうか。また、地域活動協議会のカテゴリの中でも「地域活動協議会とは」のページが一番後ろになっているので、前に出してみてもどうか。」という御意見をいただきました。

それに対して、当日、区のほうから、荻谷市民協働課長から、「区ホームページの掲載方法を検討して、より一層見やすくなるよう改善してまいりたい。」と返答をいただきました。

その次なんですが、具体的対応としまして、「いただいたご意見を踏まえ、区ホームページのトップ画面にバナーリンクを設置して、地域活動協議会に関するページへ直接遷移できるように調整し、11月下旬に実施した。また、あわせて地域活動協議会のカテゴリの中における「地域活動協議会とは」の掲載順位の改善も行った。」という対応をいただきました。

当日の部会での発言の代表的な一例として、ただいま御報告を申し上げます。

それと同時に、情報発信部会のほうで行いましたフィールドワークについて、御報告を

させていただきます。

情報発信部会では、11月9日月曜日に、区内の文化事業を代表する大阪フィルハーモニー会館を見学いたしました。区政会議の委員でもあります、大阪フィルハーモニー協会の白石委員のほうから、会館の歴史や地域と音楽との関わりなどについての説明をお聞かせいただき、会館内を案内していただきました。

ホールそのものは僕も入ったことがあったんですけど、裏側、バックヤードがあるんですけども、そちらのほうも見せていただきまして、非常に貴重な楽器類がそこにちゃんと貯蔵されておられるということを確認させていただきました。誠にいい経験だったと思っております。

以上が、情報部会からの御報告でございます。よろしくお願いたします。

【越村議長】 ありがとうございます。

それでは、次に、西成特区構想部会からの報告で、甲斐田議長、よろしくお願いたします。

【甲斐田委員】 皆さん、こんにちは。西成特区構想部会の甲斐田でございます。

それでは、部会の主な御意見と区の考え方について、お手元の資料2を御覧いただきたいと思っております。また、報告をさせていただきます。

西成特区構想部会では、主に西成特区構想や自転車駐輪対策、地域防犯活動、広報などに関する意見をいただきました。本日は、多数の意見の中から一部を紹介させていただきます。

特区構想部会の資料2の1、孫副議長より御意見あったものを紹介したいと思います。

「西成特区構想は、あいりん地域、釜ヶ崎のことだけではなく、西成区全体のことを考えた取り組みであるということを確認した。この部会にも積極的に参加しようと思ったのは、特区構想を通じて西成全体がよくなればということで参加している。ただ、世間では西成特区構想はあいりん地域限定の取り組みと勘違いされているところがある。西成特区構想を正しく発信していく必要があると感じた。」という質問に対して、当日、横関区長より回答がございました。

「ご指摘のとおり、西成特区構想はあいりん地域のことだけではなく、西成区全体の課題解決をめざしている。例えば、不登校や遅刻の児童生徒に対して、各学校にサポーターを配置するモデル事業は、この4月から西成区の全小中学校で実施することになった。通常なら予算要求をしてもなかなか通らないが、西成特区構想の枠組みで市長に認めていた

だいた。西成特区構想はあいりん地域のことだけではない事は、しっかりと広報していきたい。」それに対応として、「あいりん地域を主とした事業が多いことから、あいりん地域限定の取り組みとして広く認知されてしまっているものとするが、西成特区構想においては、「西成区こども生活・まなびサポート事業」の他、「プレーパーク事業」など、区域を限定せずに進めている事業も多くある。ご指摘の内容を踏まえて、今後、西成特区構想の内容について、区民の皆さまに正しく伝わるように、広報を含めた取り組みを進めてまいりたい。」、こういう対応の報告でございます。

西成特区構想部会が、今回、フィールドワークにて、11月19日木曜日に、12月開院予定の大阪社会医療センター附属病院を見学させていただきました。非常に素晴らしい病院で新しく、感銘したのは、患者の皆様と、また介護、あとお医者さんが非常に接触を避けて、素晴らしい動線にされてました。これは普通の病院ではなかなか、私もいろんなところ行きましたけど、あまりないなど。やはり、今コロナ禍の中で、こういう感染に対する病院が非常に貴重ではないかなと感じました。

それともう一つは、番号で患者の方が、その番号に行けば診察を受けられるということで、非常に見やすい形で、私も病院に行ったとき、何々科に行きなさいとか言われても非常に分からない。しかし、番号で13番、12番、ここに行けば患者さんを診ていただけるという非常に見やすい、簡単な配慮をしていただいているなというのが感じました。やはりこれからは、こういう患者さんと看護婦さん、またお医者さんとの触れ合いというか、そういう別々の対応をしなくちゃいけないというのが、非常に、今回、素晴らしい病院だと感じて帰ってまいりました。

以上で、報告は終わります。

【越村議長】 ありがとうございます。

甲斐田議長、その病院というのはどの辺にあるんですか。

【甲斐田委員】 あいりん総合センターに古い病院がございますけど、その新しい病院ですわね。

【越村議長】 ほな、線路側のこっち側ですか。西側ですか。

【甲斐田委員】 新今宮の駅がございますが、その対面に今まで古い病院があったんですが、その後ろのほうに素晴らしい病院がありますので、また。

【越村議長】 ほな、もうできたということやね。

【甲斐田委員】 もうできて、12月1日から開院されたと聞いてますが。

【越村議長】 それ今コロナの中で、見学いうたらなかなか難しかったのと違います。

【甲斐田委員】 11月19日で病院は開院していませんでしたので、全てを見せていただいて、素晴らしい病院だなというのが感想でございます。

【越村議長】 分かりました。1度僕も、また近所まで行ったらちょっと見学させてもらいます、外から。どうもありがとうございました。

それでは最後になりますけど、教育部会からの報告、西前議長よろしくお願いいたします。

【西前委員】 教育部会の西前でございます。

それでは、部会での主な御意見、区の考え方について、お手元の資料3を御覧いただきたいと思っております。御報告をさせていただきます。

教育部会では、主にこども食堂支援事業やコロナ関係、人権問題等に関する御意見をいただきました。本日は、多数の御意見をいただいた中から一部を御紹介させていただきます。

まず、資料3の1ページの5番のところを御覧いただきたいと思っております。藤本委員からのコロナ関係についての御意見です。「他区では学校給食の職員や保育所の先生、こども食堂のスタッフなどがコロナに罹り、保護者が困っているという話を聞いた。西成区はどうか。」という質問と、「プレーパークでは「大阪コロナ追跡システム」を導入していないのか。」という御質問でございました。

それに対しまして、当日の回答ですけれども、横関区長より「幸いなことに西成区ではそういった報告は受けていない。」ということでございます。「「大阪コロナ追跡システム」に関しては検討してまいりたい。」という当日の御回答でございました。

対応につきまして、「プレーパークでは受付で、氏名・連絡先等を記入いただき、入場者の把握を行っていたが、今回いただいたご意見を踏まえ、実施業者と調整した結果、感染症拡大防止のため「大阪コロナ追跡システム」についても導入する。」ということに決まりました。以上でございます。

それでは、続きましてフィールドワークについて御報告をさせていただきます。

教育部会では、11月28日土曜日ですけれども、もと津守小学校・幼稚園で行っていません、にしなりジャガピーパークを見学いたしました。屋外ではボール遊びをしたり、手作りのブランコで楽しむなど、多くの子どもたちがにしなりジャガピーパークを利用していました。

どうしても位置的に端のほうだということで、また学校によっては校区外ということで、子どもがなかなかちょっと行きにくいなということもあったりしてますけれども、普通の遊び場と違いまして、いろいろな形の中で、若い方のお手伝いもあったりとかして、子どもたちが大変喜ぶような遊び場にさせていただいてます。

この次の週の土曜日に、小学校の孫2人を連れていきましたけれども、大変喜んでおりました。また友達連れてこうというふうなことで、子どもたちも言うておりました。ぜひ皆様方も、ジャガピーパークを宣伝していただきまして、子どもたちに利用するように、また促進をしていただけたらありがたいと思います。

以上でございます。

【越村議長】 どうもありがとうございました。

このジャガピーパークいうたら、もと津守小学校の跡ですね。

【西前委員】 そうです、はい。

【越村議長】 あそこは夏場やったら、ドラム缶にお湯を入れたり、お餅つきとか小さいプールとかいろんなもんしてますね、あそこ。そういうの今年はちょっとなかったんちゃいます。

【西前委員】 プールはなかったような、やっぱりコロナの関係で。ですけど、いろんな手作りのブランコなんかを、木からぶら下げて作っていただいていますんで、ほかではないような、ちょっとスリルを味わうような、子どもたちにとりましてね。

【越村議長】 そうですね。泥みたいなところもあって、はだしで歩いたりいろんなことしてましたね、あそこ。結構ようしてる思うんですよ。また一度皆さん、機会あったら、このコロナ終わってからゆっくりまた見学してください。あそこ年がら年中やってるようなもんですから。どうもありがとうございました。

それでは、各部会から報告、以上なんですけど、皆さん、何か御意見ございませんか。

もしもなければ、続きまして、令和3年度の西成区運営方針（素案）につきまして、事務局よろしくお願いたします。

【三代総合企画担当課長】 議長、どうもありがとうございます。総合企画担当課長の三代でございます。

令和3年度西成区運営方針（素案）について、御説明をさせていただきます。座らさせていただきます。

それでは、資料4の「令和3年度西成区運営方針（素案）一概要版一」というのを御覧

いただけますでしょうか。本日は、こちらの概要版を基に御説明をさせていただき、詳細につきましては、参考資料として添付させていただいております、令和3年度運営方針（素案）にて皆様方のほうで御確認をいただきますよう、よろしく願いをいたします。

まず、概要版の1ページでございます。そこには、区の目標、区の使命、そして区運営の基本的な考え方ということで掲載をさせていただいております。区の目標並びに区の使命につきましては変更ございません。来年度も、「未来を担う子どもたちが健やかに育ち、だれもが笑顔にあふれ、安心安全に暮らすことができるまちの実現をめざす」ということを目標とさせていただきまして、区政の推進を図ってまいりたいと考えております。

次に、区運営の基本的な考え方でございますが、西成区のまちの活性化と、若者や子育て世帯の流入促進に向け、様々な取り組みを展開しております。先ほど話もございました西成特区構想でございますけれども、これも来年度で、第2期5か年の4年目を迎えることとなります。

まちの活性化につきましては、区民のアンケートにおけます区のイメージは着実に上昇し、コロナ禍の前ではございましたが、来街者も増加傾向にあるなど一定の成果が現れてきておるんですけれども、若者や子育て世帯の流入促進におきましては、先ほどもございましたプレーパーク事業、またこども生活・まなびサポート事業、またサービスハブ構築・運営事業など区独自の運営を行い、教育現場や地域関係者からは肯定的な御意見をいただいているところでございますけれども、子育て世帯人口の増加など、客観的な指標等に反映されるまでには、今現在、至ってない状況でございます。

このような状況に鑑み、西成区といたしましては、若者や子育て世帯の流入促進に向け、さらなる充実が必要であると考え、こちらの区運営方針の基本的な考え方の下から4行目の後段の「さらに」というのがございまして、「さらに」の後に、「若者等の居住促進」という言葉を昨年度の運営方針から付け加えをさせていただきました。

この若者等の居住促進に向けた具体的な取組等につきましては、今後、特区構想の有識者と様々な方の御意見もいただきながら検討してまいりたいと考えておりますので、よろしく願いをいたします。

次に、1枚めくっていただきまして2ページでございます。こちらには、令和3年度の西成区の運営方針の取組一覧を掲載させていただいております。令和3年度につきましては、そこがございます「重点的に取り組む主な経営課題」、「戦略」、「具体的取組」とさせていただき、区の目標達成に向けて、区民の皆様の御理解、御協力をいただきながら

進めてまいりたいと考えておりますので、よろしく願いをいたします。

次のページ、3ページ以降につきましては、今の具体的取組ごとの取組内容、指標、目標値を掲載させていただいておりますので、御覧をいただければと思っております。

甚だ簡単ではございますが、以上で、「令和3年度西成区運営方針（素案）一概要版一」からの説明を終わらせていただきます。ありがとうございました。

【越村議長】 ありがとうございました。

皆さん、今のことに関して何か御意見ございませんか。

もしもなければ、続きまして、「令和2年度の西成区地域福祉推進会議開催報告について」、区役所よろしく願いいたします。

【安井福祉担当課長】 議長、どうもありがとうございます。西成区の福祉担当課長、安井でございます。それでは座って説明をさせていただきます。

この会議の開催報告でございますが、本年10月、コロナ禍の状況から、書面による会議の形式で開催をいたしました。それでは、早速ではございますが、資料の5番並びに、つながる場と書きましたカラー刷りのチラシを御参照いただきながら、説明を申し上げます。

それでは、資料5の1ページ目でございます。「西成区の地域福祉の推進に向けた令和2年度の取り組み」の重点項目でございます。そこにありますように3つ、1つ目としまして「①【独居高齢者への支援】」、2つ目「②【認知症高齢者への支援】」、それから3つ目として「③【複合する課題を抱えた世帯への支援】」ということでございます。

それぞれ、左側の四角に、①の課題解決に向け取り組むべき方向性ということで、2つ示しております。「西成つながり名簿」を活用した各地域の見守り活動の後方支援、「啓発や関係機関との顔の見える関係づくり」。それから2つ目の認知症高齢者への支援としまして、同様に、「認知症サポーター養成講座の開催と活動」、「関係機関との顔の見える関係づくり」。右側の囲み、四角の中に、③の方向性としましては、「つながる場」の充実と、地域での住民主体の「かけはし」の構築と定着。これらを重点項目として取り組みを進めてまいります。

次のページ裏面を御覧いただきますと、今申し上げました重点項目のうち、昨年度からではございますけれども、特に重点的に取り組んでおります、つながる場の開催状況についてでございます。ここで、別添のカラー刷りのチラシを御参照いただきたいと思います。

もう既につながる場、御存知の方もたくさんいらっしゃるかと思いますが、改めて少し

説明をさせていただきますと、「「つながる場」について」ということで、例えばこんなことに悩んでいませんかということ、吹き出しの中にあります。「高齢者を支援しています。その人には大声を出し近隣から苦情のある、障がい疑われる息子がおり、障がいなど、他分野の機関と連携できない。世帯として、どう支援したらいいかわからない」。

例えば、こういう課題をその下のイメージ図にございますように、地域の包括支援センターなどからケースに応じた相談がございます。そういう区役所のほうに上がってまいりました相談に対して、区役所が情報収集など行います。そのケース、案件に応じて、S V、スーパーバイザーのほうに派遣依頼、局のほうに派遣依頼を行いまして、そのつながる場を開催して、一緒にその物事を整理し方向性を考えるというものでございます。

スーパーバイザーといいますのは、その下の「つながる場の開催」の四角の中にも書いておりますように、学識経験者や相談支援の実務者、専門家でございます。そういった専門家のアドバイスを聞きながら、関係者が集まって、役割分担や支援の方針を確認する場でございます。

次に、ちょっと飛んで申し訳ないんですけども、資料5の3ページ目を御覧いただきますと、つながる場、昨年度のそのアンケートの集計結果でございます。左側の上の円グラフにございますように、今つながる場を開催すると申しあげましたけれども、参加機関はどのようなものがあるのかということ、先ほど申しあげました地域の包括支援センター、それから、障がい者の基幹相談支援センター、それから、介護保険の関係の事業所、それから、障がい福祉の事業所、学校関係と、ケースに応じて様々なところの方に参加いただきながら、支援策、方針などを考えております。

アンケートで、その右側に目を移していただきますと、「問1「つながる場」に出席したことが、今後の支援に活かせるか」ということで、98%の方につながるというふうな肯定的な御意見をいただいております。その下、「はい」と答えていただいた方に、「関係者が一堂に会したことで」ということで、1番で「顔の見える関係づくりができた、もしくは、そのきっかけができた」44%。それから2番目としまして、「要援護者（要援護世帯）の抱える問題を、解きほぐすことができた」12%。それから3番目の「他機関の関わり方が明確になった」25%と、いずれも肯定的な御意見を頂戴しております。

それでは、資料5の2ページに戻っていただきまして、こちらのつながる場のちょっと開催状況について、簡単に申し上げたいと思います。

世帯の類型としましては、母子世帯、それから、8050世帯、それから、単身世帯とい

うことで、課題のほうは先ほど来申し上げているような複合した課題のほかに、各種制度のはざまであったり、それから、継続支援が困難であったり、主となる支援機関がないといったような課題がございます。それらを、先ほど申し上げているようなつながる場を開催しながら、支援の方向性あるいは支援方針などを確認する場でございます。

最後に、私のほうから、その右横でございます具体的な事例を簡単に御紹介いたしまして、説明を終わりたいと思います。

具体的な事例としまして、「ゴミ屋敷で暮らす引きこもりのある世帯」。まずその下の生活状況でございます。母（70代）と20年に渡るひきこもり状態の娘（40代）との2人の世帯でございます。母の年金で生活しているものの、浪費による借金があり経済的に困窮しておると。室内はゴミ屋敷状態で、支援者で片づけ中であつたけれども、直後に2人が入院することになりました。

その下、支援方針・役割分担のところ、そこから7行ほど下ですけれども、今年、令和2年1月の状況で、母親、入院中でございますけれども、娘のほうは、退院後単身生活を開始できた。障がい者の基幹相談支援センターを通じて、日常生活の家事や金銭管理の支援を受けながら、簡単な調理を行い自炊できるようになった。室内もゴミがあふれることもなく整っていると。娘は就労の意欲を見せており、今後、障がい福祉サービスを利用し、生活を安定させ、就労に向けて支援していく。現在、生活の状況は安定が継続しておるといふような状況でございます。

説明は以上でございます。ありがとうございました。

【越村議長】 どうもありがとうございました。

区役所からの提案は、以上でございます。資料1、2、3の中からでもいいんですけど、何か意見をちょっと言っていたらありがたいんですけどね。何か意見。はい、ありがとうございます。

【孫委員】 ちょっとこの順番で発言して適切かどうか分からないですけども、資料4の令和3年度の区の運営方針（素案）の概要版の8分の6ページについて、ちょっと意見を述べたいと思います。

地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業というものがございます。これまでもやられてる事業でございますし、中身が書いてあるように4つの事業をやっている。その目標として、フォーラムの参加者なんかのアンケートで、必要だと感じている割合が60%というふうになってるんですが、ちょっと指標の目標が、ほかの様々な具体的

取組に比べて、曖昧と言うたら大変失礼なんですけれども、フォーラムって大体分かってる人が来ますから、60%以上、最初から分かってるやんというようなことになりかねないんで。

この大阪市24区で、高齢者数や高齢化率がずば抜けて高い西成区の目標指標としては、例えば、事業の1番目の同意確認とか名簿整備の数であるとか、3番目の認知症高齢者の行方不明時の保護強化の登録人数とか、こういったもののほうが適切ではないのかなというふうに、現在の事業を見ながら感じました。

ここまでプランできてますんで目標設定の変更が難しいというのであれば、この目標達成のために、このフォーラムの中身で例えば成功事例をお話しするとか、この事業を活用しとったら防止とか被害縮小ができたのになというような事例を示すことで、参加者の実感を上げていき、認知度を高めていくというような方法を通じて、この事業を成功に導けたらなというふうに感じました。

以上です。

【越村議長】 ありがとうございます。何か。

【安井福祉担当課長】 福祉担当課長の安井でございます。

孫委員、御意見ありがとうございます。全く、今、孫委員がおっしゃったとおりに思っております。

まず、フォーラムのほう、確かに皆さん分かっておられる方の出席者といいますか、御理解されてる方の出席が多いので、この目標値60%以上というのが、ちょっと今すぐにちょっと変えることがあれなんですけども、今おっしゃっているように、フォーラムの中身で、今おっしゃったような成功事例を分かち合うといいますか、いろんな事例を御紹介いただくことで、他の地域のやっているいいところを取り入れて、それがひいては西成区全体のいい取組につながって行って、それがよりよい見守りにつながっていく。そういったところが目標、目的かと思しますので、ちょっとそういったところに生かしていければというふうに思っております。貴重な御意見ありがとうございます。

【越村議長】 それでよろしいですか。ありがとうございます。

ほかに何かございませんか。思ったことでいいですよ。

【橋本委員】 西成区身協の橋本です。

誠に申し訳ないんです。私自身がこの区政会議に参加して、ちょうど今1年目というかで、この何々センターとかというのがどこにあるのかというのが、全然私自身把握してい

なくて、皆さん、ここに来られてる委員の方は長くされてると思いますので御存じなんだと思うんですが、役所のほうも、言わばこういうセクションを皆さん知ってるというところで発表されてると思うんです。

私自身、今日のアンケートのことにしても、よく分からないことで答えたくないような内容が書いてあるんで、全くアンケート出してもあんまり内容がないと思うんですが、実際のところ、こういう障がい者、私自身も障がい者なんですけど、そういう支援センターというのは、事務所とかそういうのはどこにあるんですか。役所にあるんですかね。

ちょっとその辺を本当に申し訳ない。私の勉強不足なんで申し訳ないんですが、ちょっとだけ教えていただけたらと思います。

【越村議長】 ありがとうございます。事務局どうですか。

【安井福祉担当課長】 福祉担当課長の安井でございます。橋本委員ありがとうございます。

確かに、ちょっと分かりにくい資料で申し訳ございません。例えば、今おっしゃっていただいた西成区の障がい者基幹相談支援センターとかいうところなんですけども、例えば、先ほど申し上げたつながる場のカラー刷りの資料の裏面でございますね。こちらのほう、私説明できてなかったんで申し訳なかったんですけど、ここに住所はないんですけども、例えば17番の基幹相談支援センターでしたら、西成障害者会館の中にございまして、連絡先はそういうところにあるというようなところですね。あとは、1番から4番なんかは、包括の支援センターなんかの各管轄するエリアとか連絡先と、こういうのございます。

今の御意見踏まえまして、ちょっとその場所とかできるだけ分かりやすいように、この場所にあるんだというようなところも、何かこちらが発信するときには、そういった場所的なもの、連絡先のものも含めて御案内させていただけるように、より分かりやすい広報に努めたいと思っております。ありがとうございます。

【越村議長】 防災マップにいろんな書いともうてますね。そこに、もしも今言わはったように、そこへちょっとまた赤字でもいいから書いてもらったらどやろ。

【鈴木地域支援担当課長】 ありがとうございます。地域支援担当課長の鈴木でございます。

防災マップ等、防災関係の担当をしているんですけども、今おっしゃったように、ここまでのものが今は確か書いてなかったと思うんですが、もう一度どういうものを記載すべきかというようなことを考えて、検討しまして、それで必要なものは落としていくよう

にしたいというふうに考えておりますので、またこちらの区役所内でも、また御意見等もまた伺ったりしながら、考えてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

【越村議長】 はい、分かりました。橋本委員、それでいいですか。

【橋本委員】 はい、ありがとうございます。こっちも大阪市の障がい者の相談員をやらしてもらってるんですが、そういった横のつながりがなかなか取れないというか、大阪市の相談を受けて、障がい者さんから相談受けても、それをどこに持っていったらいいのかというのがなかなか分からない。皆それぞれ障がいがついてるから皆同じとこかなと思ったら、何かこれはこっちですとかあっちですとか言われるようなことが多いんで。

私自身は、もう相談を受ければ、役所の5階の51番の窓口へ行ってくださいというようなことを言うてあげるのが精いっぱい、ああしなさいこうしなさいというようなことは言えないんで。できたらそういう的確な方向性というんですか、その人が求めていることを期待に込めてあげたいなというふうなところで、ちょっとお聞きしたんです。

【越村議長】 いえいえ、分かりました。そうですね。それはそのとおりですよ。どうしてもなかなか分からないんですよ。自分らもこれ今読ませてもうてても、電話番号だけじゃ分からへん。ただ、電話してどこ行ったらええか聞いても分からん場合あるんでね。だから今言うたように、その防災マップですか、あそこにいろんなもん書いてあるんですよ。結構大きな地図でね。だから、あれにまた、もしも載せれるようであれば載せていただいたらいいんじゃないかな。別に今言うてる障がいだけじゃなしに、いろんな面でもね。やっぱり一目瞭然で分かるようにしてもらったらどうかなと思っております。無理なことかも分かりませんねんけど、できるだけよろしく申し上げます、事務局の方。以上です。

ほか何か。

【岡村委員】 西成区PTA協議会の岡村です。

区役所さんと関係あるのかないかちょっと分からないんですけど、このカラー刷りのチラシなんですけども、つながる場ですけれども、これSVって書いてあるけども、スーパーバイザーということが全然明記されていないので、何か取っつきにくいというか、実務者というイメージが全然湧かないので。ちょっとこうSVとはスーパーバイザーのことですよというふうに書いておけばいいのかな。何か内輪だけでSVって言われても、その相談される方が、何のこっちゃさっぱり分からんというのはあまりよくないんじゃないかというふうに思いました。

以上です。

【越村議長】 ありがとうございます。

今、スマホとかいろんなものであって、ほとんどそういう横文字で書いたりしてるんですけど、なかなか横文字は分かりにくいものと思うんですよ。今言いはったように、それ当然ですよ。SVとは何かなということで、また、そういうことできるだけ、なるべく皆さんが分かるようにするのが一番理想じゃないかなと思うんですよ。

それは、今なんぼ流行りや言うても、LINEでも何でも、今はやってるから言うけど、分かってる人はいいけど、やっぱり分からん人の世の中たくさんいます。自分も全然分かりません。そやから、やっぱりそれ詳しく、してもうたらしいじゃないだろうと思うんですけど。それでいいですか。どうもありがとうございました。

どうぞ。

【上村委員】 個々の内容についてまた意見票のほうで提出したいと思ってるんですけども、ちょっと外れた話になるかもしれませんが、今日お昼のニュースで、大阪関西万博が閣議決定されました。基本方針が閣議されましたというニュースがありました。先日、関経連の松本会長のほうが、関西万博を契機にして、関西経済、今日本のGDPの15%ぐらいを20%にしたいというような意見も言われてるんですね。

現在コロナの関係で、先の話をしてまいるんですけども、令和3年度、運がよかったらだいぶコロナのほうで回帰、収束するかも分からないというのがあります。そうすると、西成区というのは、委員の方からも意見出てますけれども、大変海外から便利な地点とあって、しかも生活もしやすい地域ですので、ちょうどこのコロナ発生前を考えると、インバウンドがたくさん来られて、外国人たくさん来られて、しかも外国人の方がたくさん住むようになってきたという地域ですので、この令和3年度にどういう状況なるか分かりませんが、ひょっとしたらそういう動きがあるとしたら、ここに書いてる概要版といえますか、この運営方針にこだわらずに、ちょっと柔軟な対応をそのときにはしていただいたほうがいいかなという感じがしてます。ちょっとこれ感想ですけども、よろしくをお願いします。

【越村議長】 どうもありがとうございました。もう、ほか御意見ございませんか。

【三代総合企画担当課長】 今の上村委員の、ありがとうございます。

今おっしゃっていただきましたように、区の運営の基本的な考え方一番最後に、「今後の新型コロナウイルス感染症の状況を勘案しながら進めていく」という形で入れさせていただいておりますけども、私ども、今コロナの状況見据えながら、やはりまたそういう

形で収束なり落ち着いてきたというような状態になれば、またこういった内容なんかを見直ししながら、また逆に、あつてはならないといえますか、なつてほしくないんですけども、ひどくなれば、またそういったところも見ながら柔軟に、本当にこの運営方針なんかを勘案しながら、見ながら施策のほう進めてまいりたいというふうに考えておりますので、また皆様の御意見を頂戴できればと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

【越村議長】 それでいいですか。どうもありがとうございました。

もうちょっとだけ、あと1個ぐらい、御意見ないかなと思ってるんですが、白石館長、何か、こっち来てまだ赴任してまだ間もないけど、7年いてはってんから、その前。その間空いたこととかいろんなもん、ちょっと何かないですか。

【白石委員】 ここで言おうかどうしようか思つてちょっといろいろ悩んでたんですけど、全体的な問題なんですけど、数値目標のところ、アンケートの回答数というのが、非常に一時期よりも増えてきてるような気がします。

当初はなかなか数値目標立てにくいなというようなことで、アンケートの数値でというような雰囲気、数値目標立てた経過があるようにちょっと覚えてるんですけども、一時期よりも何かアンケートの回答数というのが、数が増えてきてるような気がしてね。このアンケートの結果を基に、次どういふふうな在り姿のところ、何%という数値、もう次のところも数値目標立てていくべきじゃないかなつてちょっと考えててね。

今日の何やピンクの紙とかありましたけど、それ書きながら、何かそういうことをつらつらと思つたようなところがちょっとありますんで、次の目標のところもなかなかいらわれへんと思つますんで、次の次に向けて、内部でちょっと検討していただいたらいいかなというふうに思つていますんで、よろしく願いします。

【越村議長】 どうもありがとうございました。

【三代総合企画担当課長】 総合企画担当課長、三代でございます。白石委員、どうもありがとうございます。座らせていただきます。

今の運営方針におきます目標値のところのアンケートを活用の度合いが、以前に比べれば増えたんじゃないかということでございますけども、ちょっと今、私のほうで以前と比べてどれぐらい増えたかというところまでのデータがございませんのが、私どもとしては、やっぱり客観的な数値をとるところで、アンケートを活用させていただいてるところでもございますし、だからといって、年々同じ目標値でということでもなく、各担当のほうでそれぞれ今年度の状況を見て、目標値を達成できた分については目標値を上げた

りというようなこともさせていただきながら、一応中では検討させていただいて、この目標値を定めさせていただいてるところでございます。

今いただきました御意見なんかも踏まえまして、改めて、またこの中でしっかりその辺のところも踏まえた検討を行って、今後の目標値等々の設定をさせていただければと思いますので、よろしく願いいたします。

以上でございます。

【越村議長】 どうもありがとうございました。

アンケートをかなりこれしてますね。これ、7年か8年ぐらい前から、何かにつけてアンケートしてるんですよ。で、このアンケートで出た結果いうのをまだ聞いたことないし、どうなってんのかなというちょっと不安もあるんですけど。例えば、区政会議、これ1年間した結果、こういうアンケート出たとか、区民センターでしたらアンケートとか、いやもうアンケート何種類って、かなり何十種類とあると思うんですよ。

だからまた、こういうやつもまとめてでもいいですから、ちょちょこ報告してもらうといいかなと。ただアンケート取るだけで、これは義務的かなと思ったりもするんですよ。そんなことはないやろけどね。やっぱりそういうこともあります。

だから、できればアンケートというのは、最終の集計でどのぐらいになったのか、何より何人ぐらいしてくれたんか。そういうことも含めて、してもらったらええかなと思っておりますので。難しい問題ですけど、できたらしてください。

そういうことで、ほか何か御意見ございませんか。いいですか。

ほんなら、事務局よろしく願いいたします。

【鶴見広聴広報担当課長代理】 越村議長、どうもありがとうございました。委員の皆様も御協力いただきありがとうございます。

では、本日お越しの市議員の方から、御意見賜りたいと思います。よろしく願いいたします。

【藤岡議員】 こんにちは。大阪市議員の藤岡です。こういった状況の中での御参加、ありがとうございます。

可能な限り、私も出席並びに議事録など拝見させていただいて、皆様どういった御意見があるかというのを常に拝見させていただいているんですけども、西成区の人口約11万人ほどおります。同じぐらいの人口規模で、一般市ですと、市議員約10名以上、通常おります。西成区は、市内、西成区選出が4名の市議員で役を担わせていただいております。

ります。

そういった中で、我々大阪市といたしましては、地域のことはなるべく地域で課題解決、そして進めていくということを念頭に、この間進めさせていただいております。これは今後も、そういった地域のことは地域の皆様に決めていくという流れをつくってまいりたいと思っております。

そういった中で、区政委員の皆様方におかれましては、本日のような貴重な御意見を常にいただくことによって、西成区のまちの活性化につなげていってくださっていると、私は感じているところであります。どうか今後も、いろんな御意見頂戴いたしまして、西成区の実現へとつなげていっていただけますよう、御尽力のほどよろしくお願い申し上げます。いつもどうもありがとうございます。

また、役所の皆様方におかれましては、感染対策を万全にさせていただいての開催、ありがとうございます。

以上でございます。ありがとうございます。

【鶴見広聴広報担当課長代理】 ありがとうございます。

今回の議事録についてでございますが、おおむね30日後をめどに、区のホームページに掲載し公開したいと存じます。よろしくお願いいたします。

また、アンケートと評価シートにつきましては、御記入いただきまして、机の上に置いてお帰りいただきますように、よろしくお願いいたします。

それでは、以上をもちまして、本日の区政会議を終了いたします。

皆様、本日は御協力いただきましてありがとうございました。